



いしかわ労福協

第 600 号 2018年 1月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 西田 満明
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行



安宅関跡（勸進帳）

©石川県観光連盟



(一社)石川県労働者福祉協議会
理事長 西田 満明

新年あけましておめでとうございます。2018年が皆様にとって明るく実りの多い年となるようお祈り申し上げます。

昨年中は各自治体や、労働団体、事業団体をはじめ、関係各位の皆様にご支援・ご協力を頂き、心から御礼申し上げます。

石川労福協はこの一年、ライフ・サポートセンターとともに、「暮らしの総合サポートセンター」として、「子育て支援事業」「福祉なんでも相談窓口」「無料職業紹介事業」「会員事業団体支援」を中心に働く者の生活と福祉の向上を

めざし活動を展開してきました。

しかし、この20年で働き方が大きく変わってしまいました。無理な規制緩和によって正社員が減り、忙しい時だけ雇用するという非正規で働く仲間が4割近くになってしまい、常態化しています。

このため、結婚したくてもできない人、また、子どもを産み育てるのをあきらめざるを得ない人もいるなど、経済的な理由により少子化に拍車がかかっている実態を見なければなりません。

今こそ、労福協等労働者福祉団体が培ってきた共助の輪が必要です。「連帯と相互の支え合い」という協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会、人とくらし・環境に優しい福祉社会の実現のため、関係各位の皆様のご理解とご協力をお願いし、新年の挨拶とします。

石川労福協・連合石川 2018 新春の集い



西田労協協理事長

(連合石川会長) 新春の集いには、谷本正憲石川県知事、山野之義金沢市長（石川県市長会会長）をはじめとする県内6市の首長、北代昌巳石川労働局総務部長など多くの来賓、並びに、連合石川構成団体、労働者福祉事業団体、地域ライフ・サポートセンターからの代表者等 257 名が参加し、新春に相応しく賑々しい雰囲気の中で 2018 年のスタートを切った。

西田満明連合石川会長（労福協協理事長）は、「度重なる自然災害により被災し、亡くなられた方のご冥福と被災された方々へのお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興を政府等に求めています。日本では大規模自然災害への備えは不可欠です。困難な立場にある方々を支え、防災の構えを確立していくため、職場や地域で労働運動ならではの役割を果たしていくことが重要です。」



オープニング

春闘では、『底上げ・底支え』『格差是正』の旗を 2014 年に掲げ、働く人全ての月例賃金の引上げにこだわる取り組みを進め、さらに 2016 年には『大手追従・大手準拠からの構造転換』などによる底上げを強調してきた結果、中小組合における賃上げ率



谷本石川県知事

北代石川労働局
総務部長

山野金沢市長

近藤和也
衆議院議員

が大手組合を上回る成果を勝ち取りました。また、非正規雇用の賃上げ率についても正規雇用者を上回り、物価上昇がほとんどない状況下において、60 年の歴史上初の結果を得ることができました。2018 年春闘においてもなお一層の取り組みを進めて行くことが求められます。さらに、今春闘では働き方の見直しや長時間労働の是正をも合わせて取り組み、働く人全ての立場に立った働き方の実現に連合が先頭に立って進めて行く必要があります。

連合は、『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて、働く人全ての雇用の安定、公正な労働条件の確保を求めており、政府の『働き方改革』と共通する課題がありますが、改革において見据えるべきは働く者であり、性別・年齢を超えて支え合える持続可能な社会とすべき実効性のある改革でなければなりません。政府の進める裁量労働制の対象業務拡大や高度プロフェッショナル制度は、長時間・過重労働を助長するものでしか

一川政之
民進党県連代表盛本芳久社民党
県連合代表吉田修未来石川
議員会幹事長



乾杯



岩淵正明連合
石川法曹団代表

く、是正や撤回をすべきであります。さらに、解雇の金銭解決制度は不当な退職勧奨や退職強要の横行が懸念されます。労働者の意地とプライドを持って導入を阻止しましょう。



中川博石川
労福協専務理事

石川労福協は、労働者自らの生活・暮らしの安定をめざし創立してから半世紀以上を経過し、労働者の福祉向上のため立ち上げた労金・労済との関係が希薄になってきています。しかし、労福協・労働者福祉団体が培ってきた共助の輪を生かし、『連帯と相互の支え合いと言う協力原理が生かされる社会、ぬくもりある思いやりの社



団結ガンバロウ三唱

会、人と暮らし・環境にやさしい福祉社会』の実現に、皆様のご理解ご協力をお願いします。」との挨拶に続き、谷本石川県知事等来賓が祝辞を述べ、野村昇司連合石川会長代行の発声で乾杯され新春の集いが大いに賑わい、参加者らは杯を酌み交わしながら新年を祝った。

餅つきボランティア

さわやかU（NPO 法人いしかわ介護ボランティアセンター）は、12月9日（土）に金沢市みどりの清風園「夢工房」を訪ねて、年末餅つきボランティアを役員・ボランティア等25名で行った。

当日は、施設内をお借りし、蒸しあがったもち米を臼と杵でつき上げ、あんこ餅、きな粉餅、おろし餅などにして、入所者の方々に分けたての餅を味わってもらえた。

餅つきでは、入所者らが代わる代わる杵を持ち、掛け声に合わせて餅をついた。何度もチャレンジする元気な方や二・三度ついて代わる方など、全員が餅つきを楽しむ様子が見られた。

最後に、施設長や入所者より感謝の言葉があり、ボランティア活動に充実感を与えてくれた。



これからの行事予定

（1月25日現在）

開催日	曜日	行 事	会 場
1月25日	木	七尾・鹿島、羽咋LSC 新春の集い	いこいの村能登半島
27日	土	日弁連金沢弁護士会 地域で防ごう消費者被害in金沢	金沢弁護士会館
29日	土	金沢市働く人にやさしい事業所選考委員会	金沢市役所
〃	〃	フードバンク設立準備会	コープいしかわ古府センター
30日	火	さわやかU 第2回理事会	労済会館
2月 1日	木	中部労福協 2017年度第4回幹事会（～2日）	愛知県
14日	水	消費者支援NW 消費者部会	香林坊ラモーダ
〃	〃	第6回三役会議	フレンドパーク石川
20日	火	第7回理事会	〃
21日	水	勤労者福祉サービスセンター理事会	金沢市役所
22日	木	中部労福協 第44回定期総会	ANA ホリディイン金沢スカイ



石川県知事
谷本 正憲

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

北陸新幹線金沢開業から3年目となる今も、国内外から多くのお客様が本県にお越しになっております。新幹線開業は我々の想像をはるかに超えた効果をもたらし、昨年は日々大きな変化を実感した年でした。

この勢いを今後さらに持続・発展させていくため、新幹線の開業効果を多面にわたり波及させていくことが必要です。そして、石川県を日本海側のトップランナーとして飛躍・発展させていく足場をしっかりと固めることが、今年の大きなテーマとなってきます。

県内経済については、鉱工業生産指数や有効求人倍率が、全国トップクラスの水準で推移しています。こうした足下で広がる景気拡大の流れを確かな成長軌道に乗せ、働く皆様の雇用の場の安定につなげるためにも、県内企業の積極的な取り組みをしっかりと後押ししてまいります。

貴協議会におかれましても、就業等の各種相談への対応や仕事と育児の両立支援など、本県の労働者福祉の向上に多大なご尽力をいただいております。心から感謝申し上げます。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川県市長会
会長 山野 之義
(金沢市長)

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から県内各市の市政推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

北陸新幹線の金沢開業3年目であった昨年もその効果が持続したことに加え、白山開山1,300年や奥能登国際芸術祭など加賀から能登まで大規模なイベントが実施されたことに伴い、国内外から多くの方々に県内各地を訪れていただきました。

県内各市では、これらの好環境を活かし、地域経済の活性化に向けた特色のある施策を展開するとともに、広域での連携を図り、魅力と活力ある地域づくりに全力で取り組んでまいりますので、皆様方のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

県内の雇用情勢は、有効求人倍率が全国上位で推移している一方、一部では人手不足や後継者不足が深刻な状況にあり、人材の確保が課題となっております。

こうした中、私どもとしては、労働生産性の向上など働き方改革を民間の皆様と連携協力しながら進めるとともに、若者の地元就職の支援のほか、女性や高齢者等の就労支援や労働環境の改善などに取り組むなど、引き続き市民生活の安定に万全

を期してまいります。

新しい年が、皆様方にとりまして、明るく希望に満ちた年になりますよう心からご祈念申し上げますとともに、本年も一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



九谷焼

©石川県観光連盟



石川県町長会
会 長 杉本 栄蔵

明けましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい平成 30 年の新年を清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も、県内各町の振興発展と住民福祉の向上に決意新たに取り組ましますので、力強いご支援とご協力をお願いいたします。

さて、先の衆議院解散・総選挙に伴う第 4 次安倍内閣においては、消費税増税や所得税制の改正のほか、教育費の軽減等の施策が検討されておりますが、今後の経済復興や国家財政の再建、国民生活に即応する地方創生と人口減少克服の実現に向けて、雇用の維持と定住促進、結婚・子育て支援など、地域の資源を活かす実効性ある施策を念願するものです。

また、北陸新幹線開業より 3 年を経て、県内各町においても、いろいろな方面でその効果波及が認められるところであり、ひきつづきの地域浮揚のツールとして有効かつ積極的に活用をすべきと考えています。

そして、これが対応として各町では、住みよく暮らしやすい魅力ある街づくりに、今後一層の創意工夫と努力が強く求められているものであり、そのためには、各町行政と地域の企業や住民の方々との連携と一層のご支援・ご協力が重要となります。

石川労福協並びに関係各位におかれましては、自立する地域行政のため、安全で安心して暮らせる地域づくりのため、更なるご支援、ご鞭撻を切に願います。

結びに、本年が皆様方にとって健康で幸多い一年でありますよう心よりお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。



労働者福祉中央協議会
会 長 神津 里季生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は給付型奨学金制度が創設されるなど、大きな前進がありました。今後とも運動をさらに大きくし、給付型奨学金や無利子奨学金の拡充をはじめ、返済者の負担軽減や救済策の拡充、学費を含めた教育費負担の軽減につなげていきましょう。

内外ともに不透明さが増し、世界的に格差と貧困が拡大する中、一部の層だけが富を享受し社会の分断を推し進めるのか、それとも国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」が提唱するように「誰ひとり取り残さない」包摂的な社会をめざすのか、私たちは大きな岐路に立っています。労働組合と協同組合が力をあわせ、社会的セーフティネットを強化し、共助の輪を地域に広げていきましょう！

中央労福協は「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現をめざして活動を行うとともに、2019 年の設立 70 周年に向けて新たなビジョンづくりにも取り組まします。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。



お旅まつり

©石川県観光連盟

2018年 迎春
(一社)石川県労働者福祉協議会
理事長 西田 満明
役職員一同



北陸労働金庫

石川県本部長 柚木 光

新年明けましておめでとうございます。旧年中は北陸労働金庫の事業推進に対し、労福協をはじめ各事業団体、そして各会員組織・推進機構の皆さまより多大なご支援ご尽力を賜りました。皆さまのろうきん運動の推進に心から敬意を表し厚くお礼を申し上げます。

さて昨年の世界情勢は近年にない危険な状況が頻発する年でありました。北朝鮮による核実験・ミサイル発射とそれに反発する米国大統領の過剰ともいえる言動は一触即発の危険性すら感じさせるものでした。わたしたちは何よりも東アジアの緊張体制を和らげ対話による相互理解をこそ求めていくべきだと改めて痛感する1年でありました。

一方、わが国の経済状況は昨年6月に株価が日経平均で2年ぶりに2万円台を付け、年末も2万2千円台を維持するなど大企業を中心に比較的好調といわれています。緩やかな景気回復がいわれる中、しかし勤労者の実質賃金は上がらず、社会保険料の負担増加や年末の原油高から来る家計圧迫から個人消費は思うようには上昇に転じてはいません。

そうした中、近年の日銀による異次元の金融緩和「マイナス金利」政策はすべての金融機関に疲弊を強めています。北陸労働金庫にとっても厳しさは年々、増してきており、今期の融資残高はこの年明け現在、2014年度以来の大幅な期首割れを強いられ、また本業での貸出金利息もここ数年、数億単位で減少しています。こうした厳しい状況を踏まえ、労福協からの力添えもあり、連合石川の皆さまには昨年「自主福祉運動の強化」に組織を挙げて取り組んでいたいただいています。会員の皆さまから頂いた「アンケート」を貴重な財産としてこの後も丁寧なフォローをさせていただく所存です。

このように北陸労働金庫には会員推進機構という他の金融機関にはない優れた組織があります。皆さまからのさらなるご支援・ご指導を賜ることでこの危機を乗り越え、勤労者・生活者が創り育ててきた北陸労働金庫の歴史をさらに刻んでいきたいと年初に期するところでもあります。

結びに本年は「戌年」です。本年が皆さまにとって心温まる優しい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



全労済石川推進本部

本部長 光林 邦彦

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は「全労済石川推進本部」ならびに「石川県勤労者共済生活協同組合」の事業推進に、格段のご理解とご支援を賜わり厚く感謝を申し上げます。

昨年は全国的に災害が多い1年となりました。特に昨年10月に発生した台風21号は、ほぼ全国に被害をもたらした。当「全労済石川推進本部」域内では360件の被災受付件数となりました。被災された皆様には改めて、心よりお見舞いを申し上げます。この間、「全労済石川推進本部」は、被災された皆様に早く共済金をお届けするために、全力で現場調査などの対応にあたっていました。災害はあってはならないものの、やはり発生することは否定できない現実です。皆様には万が一に備え、「住まいる共済」の活用をここにお願ひするものです。

さて、全労済は昨年9月に「創立60周年」を迎えました。労働者が自ら設立した「共済事業」として今日まで成長させて頂きました。全労済は「みんなで助け合い、豊かで安心できる社会づくり」を理念に「共済運動」を進めております。「創立60周年」を一つの節目としながら、「自主福祉運動」の原点に立ち返り、これまで組合員、協力団体の皆様と共に歩んできた歴史を再認識し、より魅力的な「保障の生協」となるべく、役職員一同、今後とも取り組んでまいります。

また、昨年来より連合石川には、「自主福祉運動」の強化に向けて、各地協や構成組織における「学習会」、「クラシノソコアゲ アンケート」などに取り組んで頂いており、そのことに対して、心から感謝を申し上げます。そして、お互いの認識を「共有化」する中では、「職域・地域」における「労働者や生活者」の生活環境が、より厳しくなっている現状があり、「労働者や生活者」の暮らし全般にかかわる支援（サポート）事業の重要性は、これからますます高まると思われます。そのことから言えば、「自主福祉運動」の一翼を担う全労済の役割は大きいと認識しております。

本年度は「住まいる共済」、「団体生命共済」、「マイカー共済」、「自賠責共済」、「こくみん共済」を重点共済と位置づけ取り組んでおります。加えて、「離・退職者」対策、「新入組合員・若年層」対策を進め、連合、労福協、ライフ・サポートセンター、地域協力員の皆様との連携をより図りながら、北陸労働金庫、指定整備工場、各会員生協における「共済代理店」と共に、推進活動を強化してまいります。組合員・協力団体の皆様の絶大なご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって健康で、良い1年になりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



山中漆器

©石川県観光連盟



(一財)石川県労働者信用基金協会
理事長 宮下 亮

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は石川県労働者信用基金協会が取り組む諸事業に対しまして、格段のご理解とご協力を賜り、心より厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて、当協会の2017年度上期事業概況としては、今後の重要な課題を提起されたものであり、厳しい結果でありました。新規保証実行では無担保保証が対前年同期比207,370千円減少し、有担保保証も対前年同期比972,510千円減少と非常に低調な結果でありました。事業の柱となる有担保保証が毎月伸び悩み、前年実績の6割程度しかあがらない厳しい状況といえます。保証債務残高でも同様な状況にあり、無担保保証が期首比11,536千円の微増にとどまり、有担保保証では期首比670,664千円の減少となりました。代位弁済は対前年同期比で3件、3,963千円の増加となりました。代位弁済理由では自己破産・民事再生・調停が15件と全体の7割を占めています。

この間、北陸労働金庫石川県本部はもとより同金庫各営業店とも連絡を取り合っていますが、今後とも様々な面でさらなる連携強化をはかり、北陸労働金庫の保証機関として一層の活性化につなぎ、事業目標を達成するとともに安心・安定した事業運営に取り組めます。

本年の干支は戌年です。本来ならば戌年にちなみ駆け巡る年にしたいと言いたいところですが、業界全体を見るとマイナス金利政策による厳しい環境にある状況です。こんな時こそ地道で着実な事業運営に取り組んでいく所存です。皆さま方にとりましてご健勝でご活躍の年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



石川県生活協同組合連合会
会長理事 横山 和男

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は石川県生活協同組合連合会に対しまして、労福協はじめ各事業団体、行政の皆様には多大なご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

石川県生協連は2015年に創立50周年を迎え、新年度はこれまでの歩みを踏まえて、新たな時代の中で生協が果たすべき役割についての議論をスタートさせたいと考えております。10年後の石川県のありたい姿を描き諸団体や行政とともに地域課題にどう取り組むかを検討するにあたり、皆様から生協への期待や忌憚のないご意見を賜りたいと存じます。

昨年5月には、労福協にも参画いただいている「消費者支援ネットワークいしかわ」が国から適格消費者団体として認定されました。集団的消費者被害回復にかかる訴訟制度を担うとともに、消費者の権利・利益を擁護し、さらなる消費者行政の充実をはかるため、引き続きのご支援、ご協力をお願いします。

格差・貧困などを生む社会構造が是正されないなか、生活困窮者や孤立する高齢者、相対的貧困にさらされている子ども達への支援が喫緊の課題となっています。先頃出された厚生労働省社会・援護局がまとめた「生協が行う地域福祉の先駆的な取り組み事例」にあるように、地域での生協の取り組みへの期待が大きくなってきています。今後とも地域に根ざした福祉・助け合いの取り組みをすすめてまいります。そんな中、労福協や社会福祉協議会とともにフードバンク・ネットワークの基盤づくりに着手しました。食品ロスを削減し余剰食品を地域福祉の向上や災害緊急時の食糧支援に有効に活用するフードバンクのしくみを、多くの団体、企業、行政とともに構築していきたいと思えます。

今後とも「平和と持続可能な社会の構築」をめざし、会員生協のもつインフラを活かして、行政や地域の諸団体の皆さまと連携して、県民のくらしと地域に役立つ活動に積極的に取り組んでいく所存です。

本年も何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般財団法人 石川県労働者信用基金協会

金沢市西念3丁目3番5号
TEL (076) 261-4347

恭賀新年



石川県生活協同組合連合会

金沢市古府2丁目189番
コープいしかわ古府センター2F
TEL (076) 259-5962



石川県勤労者体育協会

会 長 高 芳 晴

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃、本協会の事業推進に、協会役員はじめ県内自治体、各競技団体、企業、労働団体の皆様方に、温かいご支援、ご協力を賜り、深く感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、第20回という節目を迎えた能登島ロードレースなど予定された競技大会を多くの競技団体をはじめ各団体、関係者のご協力のもと盛大に開催することができました。改めまして、お世話いただきました多くの皆様方に心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年2月には、韓国の平昌で冬季オリンピックが行われます。スピードスケートやフィギュアスケート、スノーボード、スキー競技などで、日本選手が金メダルを何個獲得するのか、さらにメダルの総数は何個かなど、私たちに大きな夢と感動を与えてくれることを期待しています。

本協会では、日本で唯一の勤労者のスポーツ団体という特徴を活かし、関係団体と連携を深め、誰でも気軽に参加できる大会を開催し、職域や地域に生涯スポーツの普及、推進を図るとともに、健康づくりにも貢献して参ります。重ねて、関係団体のご支援とご協力をいただき、事業を展開して参りたいと思っています。

結びになりますが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



石川県勤労者文化協会

会 長 大 樋 陶 治 斎

新年明けましておめでとうございます。

皆様方にはご清祥にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。労働者福祉協議会の皆様をはじめ、連合石川、各事業団体の皆様には日頃から勤労者文化協会へのご厚情に感謝申し上げます。

皆様のおかげをもちまして、昨年は早春書画・生花展をはじめ写真サロン展、絵画・陶芸展、勤労者美術展を盛大に開催することができました。あらためて御礼申し上げます。とりわけ、第67回を迎えた勤労者美術展は、美術愛好家の方々の登竜門として県民の皆様にしっかり定着しております。昨年は会場が金沢21世紀美術館から金沢勤労者プラザに変更となり、金沢を観光で訪れた人たちの来場がかなり減りましたが、芳名録にご記帳くださった方の数は例年をはるかに多く上回りました。また、石川県庁での特別展では、来庁した人たちが和やかに優秀作品を鑑賞していました。来場された皆様に感謝申し上げます。

勤文協は、生涯福祉の向上をめざした労福協の事業の一環として、地域貢献を意識しつつ、各種展示会を中心とした芸術・文化の向上に寄与していく所存です。今後とも、石川県内における芸術・文化の裾野を広げていくために精進してまいります。

本年も勤文協にご支援ご協力を賜りますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

2018 第52回 石川県勤労者 冬季体育大会

開催地	開催日	種 目	場 所	申し込み締切日
金 沢	平成30年2月18日(日)	卓 球	いしかわ総合SC(サカ)	2月 5日(月)
金 沢	平成30年3月18日(日)	卓球(3人制)卓球(4人制)	いしかわ総合SC(サカ)	3月 5日(月)
白 山	平成30年3月11日(日)	バドミントン	若狭公園体育館	2月26日(月)
金 沢	平成30年3月18日(日)	ソフトバレーボール	いしかわ総合SC(サカ)	1月22日(月)
野々市	平成30年2月 4日(日)	バスケットボール	野々市市民体育館	1月22日(月)
金 沢	平成30年2月11日(日)	バスケットボール	金沢市中央市民体育館	1月22日(月)
白 山	平成30年2月18日(日)	バスケットボール	若狭公園体育館	1月22日(月)
内 灘	平成30年2月25日(日)	バスケットボール	内灘町総合体育館	1月22日(月)
白 山	平成30年3月 4日(日)	バスケットボール	若狭公園体育館	1月22日(月)
白 山	平成30年3月11日(日)	バスケットボール	美川スポーツセンター	1月22日(月)
津 越	平成30年3月25日(日)	バスケットボール	津越運動公園体育館	1月22日(月)



入場無料

第48回石川県勤労者 早春書画・生花展

開催日 2018年2月1日(木)～4日(日)
午前10時～午後6時(最終日 正午まで)

会 場 いいのき迎賓館 ギャラリーA及びB
※特別展 2月10日(土)～2月12日(月・祝)
野々市市情報交流館カメラア
(野々市市役所3Fギャラリー)

主 催 石川県勤労者文化協会
後 援 石川県労働者福祉協議会、北國新聞社
北陸放送、野々市市



NPO法人
いしかわ介護ボランティアセンター
代表理事 澤 信俊

新年あけましておめでとうございます。

21世紀に入り団塊の世代の退職をめぐって、「2007年問題」がクローズアップされました。1947年から49年の3年間に生まれた団塊世代687万人の最年長層が、60歳の定年を迎えたのが2007年でした。そして、最年長層は昨年には古希を迎え、その後に訪れる喜寿（77歳）、傘寿（80歳）、米寿（88歳）を迎えるため精進の日々を送っていることと思います。

内閣府のホームページでは『「どれだけ真面目に働いても暮らしがよくなる」』という日本経済の課題を克服するため、安倍政権は、『デフレからの脱却』と『富の拡大』を目指しています。これらを実現する経済政策が、アベノミクス『3本の矢』です』というフレーズで始まり、2012年の『3本の矢』は、①大胆な金融政策②機動的な財政政策③民間投資を喚起する成長戦略だと説明し、次いで2015年に放たれた『新・三本の矢』では、『安倍内閣は、一億総活躍社会の実現に向けて、[希望を生み出す強い経済][夢をつむぐ子育て支援][安心につながる社会保障]からなる[新・三本の矢]を一体的に推進し、成長と分配の好循環を強固なものとしていきます』と宣言しています。

アベノミクスが誕生して5年が経ちました。昨年末の日銀発表の2017年7～9月期の資金循環統計によると、金融機関をのぞく企業の金融資産残高は前年比15.3%増の1,207兆円で、個人が保有する金融資産保有残高は前年比4.7%増の1,845兆円でした。

成長と分配の好循環は、株高や円安によって恩恵を受ける一部の企業や富裕層に偏重するのではなく、真面目に働くすべての勤労大衆に公平に浸透するところに、真の姿を見ることができます。

NPO法人 いしかわ介護ボランティアセンター



金沢市西念1丁目12番22号(労済会館2F)
電話(076) 222-3337



日本労働組合総連合会石川県連合会
会長 西田 満明

新年を迎え謹んでご挨拶を申し上げますとともに、日頃からの連合運動に対するご指導・ご支援に心より御礼申し上げます。

労働運動は、より良い職場・社会の構築に向けた変革のまさに原動力です。連合はその先頭に立ち、働く者、生活者の立場に立った政策を実現する力を磨くとともに、組織力を維持・強化し、運動の推進力を高め、すべての働く者のために、次の飛躍に向けた「確かな一歩」を着実に歩む一年としなければなりません。

私たちは、「働くことを軸とする安心社会」「7万連合石川」の実現をめざし、2018春季生活闘争を勝利し、連合石川の「政策実現」に向けた政治活動を強化していく所存でございます。

連合運動への理解と共感の輪を広げるべく、それぞれの立場で強く発信・行動していきましょう。

本年も、石川労福協をはじめ、各事業団体の益々のご活躍を祈念申し上げます。



本年も、私ども各地域ライフ・サポートセンターにご支援ご協力をいただきますようお願いします。

珠洲・能登地域LSC	会長	谷 良治
輪島・穴水地域LSC	会長	赤田 実
七尾・鹿島地域LSC	会長	角三 外弘
羽咋地域LSC	会長	中條 忠
河北地域LSC	会長	宮下 亮
金沢地域LSC	会長	綿 征一
白山・野々市地域LSC	会長	柚木 茂二
小松・能美地域LSC	会長	古田 政敏
加賀地域LSC	会長	山本 和志

食とみどり、水を守るいしかわネットワーク

第 12 回定期総会

食とみどり、水（食とみどり、水を守るいしかわネットワーク）は、12月26日（火）にフレンドパーク石川において第12回定期総会を賛助会員ら25名が出席して開催した。

司会の中川博副代表（石川労福協専務理事）が、議長に村上睦事務局次長を選出したのに続き、西田満明代表（連合石川会長、石川労福協理事長）が代表挨拶して議事が進行された。報告事項及び全議案は提案どおり満場一致で承認され、本年度も次の世代を担う子ども等も参加できる内容で海外飢餓支援米の取り組みを行うとともに、命を育む環境・自然の大切さを示していくこととなった。

総会終了後、澤信俊副代表（星稜大学名誉教授）が、「命の源となる自然、水、食を大切にする活動を通じ、都市と農村が共生できる社会を構成できるよう、新しい地域社会を作れる生業を確立していくことが重要である。」と経験に基づく挨拶をした。



加賀地域LSC



第9回親子・お友達ケーキ作り

加賀地域LSCは、毎年12月の恒例行事となっている『親子・お友達ケーキ作り』を24組53名の参加のもと、12月9日(土)セミナーハウスあいりすで開催した。加賀地域LSCからの挨拶に続き、講師のブーランジェリー・カナエの金榮先生のレクチャーの後、ケーキ作りに入った。親子で力を合わせ生クリームの泡立て作業に続き苺をスライス。次は、スポンジに生クリームとスライスした苺をサンドし、周りを生クリームできれいに塗り土台を完成させた。そして、マジパンなどの飾り物で思い思いにデコレーションし、ケーキを完成させた。

今回お父さんの参加は4名。いつもと違ったお父さんの姿を見る事が出来たのではないのでしょうか。出来上がったケーキと一緒に記念写真を撮る人など、楽しそうな様子が伺えた。最後に片付の後、金榮先生にお礼を述べ終了した。

日頃は忙しいお父さん・お母さんにとって、親子で調理をする機会は少なく、そういう意味でも短時間ではあったが、親子のふれあいができ、有意義なものになった。

加賀地域LSC 事務局長 御館 啓太

ろうきん自動車ローン

くるま自慢 キャンペーン

（キャンペーン期間：2018年5月31日まで）

新車・中古車の購入やカーポートの建設費用に！
他金融機関の自動車ローンの借換えに！

【キャンペーン最下層金利】

固定金利

年

1.5%

～年 2.2%

給与振込（10万円）ご指定の方

ろうきん住宅ローンをご利用の方

は最下層金利でご利用いただけます。（本人または同居家族に限ります。）

■ご融資額／最高700万円

■ご返済期間／最長10年

■ご返済方法／毎月返済または毎月返済とボーナス返済の併用

■保証／保証機関の保証が必要です。

※金利は2018年11月1日現在適用中。金利適用はお取引引当による金利引下げ幅です。※別途特別保証料0.24%となります。※保証機関ごとの融資最高金額・保証料が異なる場合がございます。※お申込みには収入、勤続、年収1年以上と併せて返済希望の融資月数と返済利率を決定いたします。※無職・無収入の方・個人の総収入年度額は1,500万円以内となります。※返済期間中に契約いただいた商品、期間終了に融資実行が滞る場合でもキャンペーン金利の適用の可能性があります。※返済条件が変更された場合、返済手数料が変更となります。※審査の結果、ご融資がご希望の条件に一致しない場合がございます。

※詳しくは融資したい営業店またはローンセンターまでお問い合わせください。

本年もよろしく
お願ひ申し上げます

ZENROSAL NEW
ZENROSAI

カーライフを応援する、頼れる補償 **マイカー共済**

自動車総合補償共済

**あなたの安全運転を、
おトクな掛金で応援します!**

最大2等級
64%割引!

同じ等級でも
事故なしの方は、高い割引率を適用!

運転者の設定で
掛金が最大7%割引に!



http://www.zenrosai.coop

生活保障アドバイザーが
ご自宅へ伺いたします。

全労済の生活保障アドバイザーが、お客様の状況に合わせて、最適な保険プランをご提案いたします。
お申し込みから契約まで、安心してお任せください。
お電話・お問い合わせも大歓迎です。

共済のご案内センター
0120-080-359
平日 9:00~21:00 (年中無休)

保証のことなら
全労済

全労済石川推進本部
石川県の皆様へ、全労済の保険サービスについて詳しくご案内いたします。お気軽にご相談ください。
全労済は、全国で最も信頼されている保険会社の一つです。お客様の安全と安心を守るために、様々な保険サービスを提供しています。